

議会だより

NO.  
**165**  
2018年  
10月15日  
発行

# たけとよ

愛知県武豊町議会  
平成30年9月定例会



9月議会あらまし  
 期間 9/4(火)～9/21(金)  
 内容

・報告案件	4件
・補正予算関係議案	2件
・条例関係案件	1件
・その他案件	2件
・認定議案(決算)	7件
・同意案件	1件
・一般質問	12人

目次	ページ
● 特集	2
● 一般質問〈会派代表〉	6
● 一般質問〈個人質問〉	9
● Q&Aその後	13
● 視察報告	14
● 住民の声・編集後記	16

**猛暑の中での授業風景**  
**扇風機と体操服で暑さを乗り越えました。**  
**全小中学校でエアコン設置決定。**  
 (関連記事は、P.2・6・7に掲載)

## 熱中症対策!! 小中学校にエアコンを設置



小中学校空調機設置工事設計委託料  
994万円

全部の普通教室と特別支援学級の、計119教室に、エアコンを設置します。

## 危険なブロックを撤去!!



小中学校ブロック塀等  
撤去工事設計委託料 335万円

緊急性はないが危険と判断された、武豊小北側板柵、衣浦小中庭ブロック塀などを、来年度撤去します。

## ブロック塀撤去費補助金 200万円

倒壊のおそれのある、民間のブロック塀や土塀を撤去する際の工事費を補助します。

\*補助事業期間：平成30年10月1日～平成33年3月31日

## スズメバチ類駆除委託料 86万円

原則は、土地や建物の管理者駆除ですが、巣から10メートル以内に通学路や学校・公園・公民館がある、また、公道があり、かつ人が住んでいる家がある場合、町で巣の駆除を実施します。

### 議案質疑

安全で快適な学校生活のために

**Q** 小中学校で危険性の高いブロック塀や焼却炉などを撤去することのだが、他にも撤去をしなければならぬ危険物はあるのか。

**A** 専門的見識が必要な構造物については、専門家による調査診断を行った。他に撤去しなければならぬ危険物は無いものと考ええる。

**Q** 小中学校のエアコン設置に関して、機器の品薄が予想されるが、その対応は。

**A** メーカー側は、それを見込んで増産していると聞いている。

**ブロック塀等の撤去費補助制度を創設**

**Q** 申請件数を何件くらいと見込んでいるか。また、

周知方法は。

**A** 新たな制度で見込みが立てにくいため、上限額20万円の10件分を計上した。周知については、現在、町のホームページ、新聞などで予告をしている。また、広報で制度開始の記事掲載の準備をしており、多くの方々に制度を活用していただけるようPRしていく。

**今後の地域交流センター味の蔵たけとよの役割**

**Q** 地域交流センターと味の蔵たけとよの利用状況は。また、今後の方向性は。

**A** 平成29年度の利用者数は、平成28年度と比べ増加している。

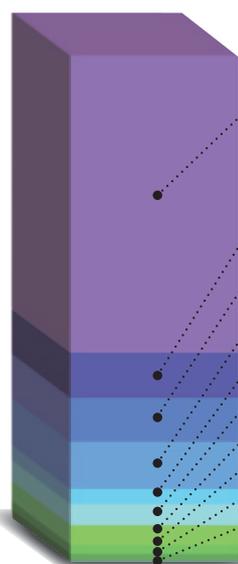
今後、地域の方々に対して開かれた交流の場として、また、観光の拠点として、町内外から広く利用されるよう、更なる取り組みをしていきたい。

■平成29年度決算の概要

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)	差引額
一般会計		132億3002万円	126億 992万円	6億2010万円
特別会計	国民健康保険事業	44億9918万円	42億6324万円	2億3594万円
	後期高齢者医療	4億8439万円	4億8328万円	110万円
	介護保険事業	26億3957万円	25億4205万円	9751万円
	農業集落排水事業	6064万円	6064万円	0
	下水道事業	14億2081万円	14億2081万円	0
合計		223億3462万円	213億7995万円	9億5467万円
水道事業会計	収益的収入	8億8248万円	※当年度純利益は1億4145万円	
	収益的支出	7億2667万円		
	資本的収入	6553万円	※収支不足分は、過年度分損益勘定留保資金 2億3130万円にて補てん	
	資本的支出	3億1131万円		

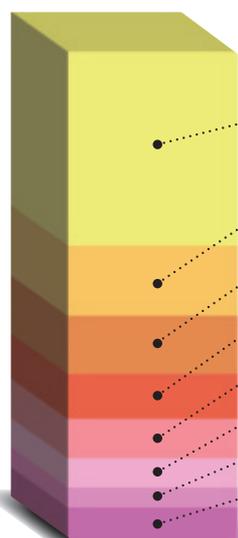
(四捨五入により、差引額・合計などが実際の計算額と異なる場合があります)

歳入 132億3002万円



	前年度決算	平成29年度決算	差 額
町 税	76億3694万円	77億4565万円	1億 871万円 ↑
国 庫 支 出 金	11億7417万円	11億6976万円	441万円 ↓
交付税及びその他交付金	10億9310万円	11億5901万円	6591万円 ↑
県 支 出 金	7億7274万円	12億2393万円	4億5119万円 ↑
町 債 ( 借 金 )	1億8247万円	3億9081万円	2億 834万円 ↑
繰入金(貯金取り崩し)	4億 32万円	5億5100万円	1億5068万円 ↑
諸 収 入	5億1954万円	5億1350万円	604万円 ↓
使用料及び手数料	2億2910万円	2億2939万円	29万円 ↑
分担金及び負担金	1億9287万円	1億9711万円	424万円 ↑
そ の 他	1億4825万円	4986万円	9839万円 ↓
総 額	123億4950万円	132億3002万円	8億8052万円 ↑

歳出 126億992万円



	前年度決算	平成29年度決算	差 額
民 生 費	48億6205万円	49億7784万円	1億1579万円 ↑
土 木 費	15億9973万円	18億 877万円	2億 904万円 ↑
教 育 費	15億6997万円	14億9587万円	7410万円 ↓
総 務 費	12億5804万円	11億5943万円	9861万円 ↓
衛 生 費	10億2230万円	10億1596万円	634万円 ↓
公 債 費	7億3103万円	7億4715万円	1612万円 ↑
消 防 費	5億1187万円	5億1831万円	644万円 ↑
その他(農林水産費・議会費・商工費・労働費など)	5億 340万円	8億8659万円	3億8319万円 ↑
総 額	120億5839万円	126億 992万円	5億5153万円 ↑

賛成

政和クラブ 石川義治議員

一般会計

歳入では、全体の6割を占める町税収入額で対前年比1.4%増、徴収率でも前年度を上回る97.1%となった。歳出では、各事業

の執行に対して可能な限り町民の要望や期待に応えるため、きめ細やかな執行がされている。今後も限られた財源の中「選択と集中」により、住民サービスを低下させることなく各事業の遂行を期待する。

反対

梶田 進議員

一般会計

リニア建設促進愛知県期成同盟会負担金などは、地域発展に寄与しないので負担金の中止を求める。愛知県知多地方滞納整理機構での滞納徴収は

問題が多いので、滞納徴収は町職員で行うべきであり、機構からの離脱を求める、新産業立地促進奨励金は、立地、増設を行った企業に固定資産税分の奨励金を支給するものであり、廃止すべきである。

介護保険特別会計

「保険あつて介護なし」が現実になりつつある。施設介護サービスを受けているのは、要介護3で38%、要介護4で44%、要介護5で46%となっており、実際

には受けられない状況となっている。この状態を早急に改善することを求める。実質収支金額が大きいので是正をもとめる。

採決結果

○：賛成 ×：反対 -：欠席 議長は採決に加わりません。

平成30年第3回定例会		1 富永 良一	2 甲斐百合子	3 久野 勇	4 櫻井 雅美	5 青木 信哉	6 青木 宏和	7 本村 強	8 梶田 進	9 南 賢治	10 石川 義治	11 森田 義弘	12 大岩 保	13 鈴木 一也	14 石原 壽朗	15 福本 貴久	16 岩瀬 計介	採決結果
平成30年度一般会計補正予算		-	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
災害等資金融資条例の廃止について		-	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度決算認定	一般会計	-	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険事業特別会計	-	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計	-	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計	-	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	可決
	農業集落排水事業特別会計	-	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計	-	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計	-	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決	
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書		-	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
国の私学助成の拡充に関する意見書		-	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書		-	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決

# 一般質問 町政を問う



一般質問とは、議員が町の行財政全般に対し、質問して確かめることです。会派の代表が質問する「会派代表質問」と、個々の議員が質問する「個人質問」があり、質問時間は答弁を含め50分以内です。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
6	福本 貴久	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の空調設備の設置について</li> </ul>
7	青木 信哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの命を守るために学校の暑さ対策について</li> <li>学校環境の安全について</li> </ul>
8	甲斐 百合子	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性的な病気や障がいなどのため、生活面に特別な配慮や支援が必要な子どもの支援について</li> </ul>
9	上 森田 義弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜茶業研究所跡地の用地取得について</li> <li>町道六貫山線の整備計画について</li> </ul>
	下 岩瀬 計介	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内河川改修について</li> <li>町の墓園改修について</li> </ul>
10	上 石原 壽朗	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致などによる雇用創出と若い世代へのアプローチについて</li> </ul>
	下 久野 勇	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策について</li> </ul>
11	上 青木 宏和	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政について</li> </ul>
	下 本村 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園などのアダプトプログラムについて</li> </ul>
12	上 石川 義治	<ul style="list-style-type: none"> <li>武豊町の財政状況について</li> </ul>
	下 櫻井 雅美	<ul style="list-style-type: none"> <li>0歳児の入所条件について</li> <li>不登校児への対応と予防について</li> </ul>
13	上 梶田 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時・非常勤職員の待遇について</li> <li>乳幼児保育の充実について</li> </ul>



政和クラブ  
福本 貴久 議員

# Q. 町単独費でも設置事業を進めるのか

## A. 町単独費でも設置事業を進める方針

武豊町議会は、8月1日付けで粉山町長宛に、子どもたちの健康を守り、安全で安心して、学校生活を送ることができるよう、近々に小中学校の各教室に空調設備を設置することを全会一致で要望した。そこで小中学校における空調設備の整備などに関する事項を質問する。

### 2力年度かけて空調設備を設置する

**Q** 空調設備の設置に必要な実施設計費を、9月議会において補正計上すると報告があった。改めて、空調設備設置の今後の計画を教えてください。

**A 町長** 本町の空調設備の状況は、各学校の特別支援教室・保健室・パソコン教室など、一部の教室には空調設備が整備されているが、普通教室においては、整備されていない状況にある。未来を担う大切な子どもたちの生命・健康を第一に考

え、学校生活が安全安心に送れるよう、全議員の熱い想いも強く受け止め、平成30年度・31年度の2力年度かけて、全小中学校の普通教室および、未設置の特別支援教室に空調設備を設置する。

### 全小中学校への設置費約3億7000万円

**Q** 空調設備の設置にかかる工事費用と、設置後のラニングコストはどのくらいを想定しているか。

**A 教育部長** 概算で工事費用を算出したところ、熱源を電気と仮定した業務用の空調設備を設置した場合の工事費は、全小中学校で約2億5000万円、全中学校で約1億2000万円、合計で約3億7000万円である。

また、熱源を電気として、空調設備を利用した場合の電気代は、小学校の1年間で約1100万円、中学校では約500万円、全小中

学校で、年間約1600万円と想定している。

### 中長期財政計画考慮

**Q** 財政的な面からの見解と今後の予算措置はどのように考えているのか。また、早期設置を図る観点から、国の補助制度の発表を待たず、その補助制度に適合しなくても、町単独費で設置事業を進める方針か。

**A 町長** 現在の財政状況においては、財政調整基金や教育施設基金と地方債を効果的に活用することで、予算の確保は可能と考えている。また、国に対しても各種補助制度や緊急の財政措置により、何らかの支援が講じられることを期待している。

なお、本事業は、現行の税制度から10年先の税収を見据えた、中長期財政計画も考慮し計画したものである。

次に、予算措置については、詳細設計費を9月議会

の補正予算案として上程している。工事費については、今後の工事計画に合わせ、最短で実施できる措置を講じ、補正予算・新年度当初予算、継続費などの予算措置が必要と考えている。国の補助制度であるが、国の動きは遅く、本町の動きに合うかどうか心配ではあるが、国の補助制度が間に合わなくても、町単独費で事業を進めて行く方針である。





きずな  
青木 信哉 議員

# Q. 学校環境の安全対策は

## A. 学校安全マニュアルに基づき 取り組む

**子どもたちの命を守るための熱中症対策について**

**Q** 学校生活の中で熱中症事故防止についてどのような指導をしているか。

**A** **教育部長** 教室では窓を開け、扇風機を活用し、室内の空気の循環を行い、体調の確認をしながら、定期的な水分補給を促した。また、空調設備のある教室の利用や、中学生は体操服での授業を可とした。

屋外の授業では長時間の活動にならないよう配慮し、水分補給に気を付けた。

**Q** 今年配慮したことは

**A** **教育部長** 校外授業時、クリーンセンター常武の見学を、これまでは歩いて行ったが、バスを利用した。小学校のクラブ活動は、7月末から8月中旬までの練習中止。中学校の部活動では、練習前の体調把握に努め時間の変更などを行った。

通学時は、帽子を被ること、登下校中でも適宜水分補給するように指導した。

**Q** 暑さ指数などの情報の利用はしたか。

**A** **教育指導主事** 数字的な基準は定めていないが、今後は参考にしていく。富貴中学校には、測定器はあるがその他の学校にはないため、環境省がホームページで発表している指数を参考に対策をしていく。

### 学校環境の安全について

**Q** 「学校におけるブロック塀などの安全点検に関する要請」を受けてどのような対応をしたか。

**A** **町長** 学校敷地内は、学校および学校教育課の職員による点検と、一部専門家に調査を依頼し、衣浦小学校の投てき板、緑丘小学校の屋外トイレの目隠し塀を直ちに撤去した。  
また、武豊小学校北側の



▲ 衣浦小学校中庭のブロック塀

板柵、衣浦小学校の中庭のモニュメントを囲むブロック塀、さらに学校に残る焼却炉などへの対策費を補正予算に計上した。

通学路については、注意が必要とされるブロック塀などの把握を行い、通学路安全対策連絡会に報告し注意喚起をした。さらに専門的な知識を有する愛知県職員と都市計画課職員で、緊急点検パトロールを実施し、不適合と判断された74件に

ついては、是正指導と併せて10月1日から施行予定の「武豊町ブロック塀等撤去補助制度」の案内を通知した。

**Q** 学校での安全に関するマニュアルはあるか

**A** **教育部長** 各学校で作成したものがある。「熱中症環境保健マニュアル」「愛知県学校安全マニュアル」も参考にしていく。



公明党議員団  
甲斐 百合子 議員

# Q. 保育園・学校での 病弱児・身体虚弱児の支援は A. できる範囲、可能な限り 検討していく

**A 町長** 入園の課題については、本町の保育所は、障がいが中等度までであり、集団保育と保育所で行う保育になじめるお子さんについて受け入れをしている。しかしながら、医療ケアなどを始めとする慢性的な病気や重度の障害のあるお子さんの受け入れについては、現状、施設および保育士、

慢性的な病気や障がいなどのため、生活面に特別な配慮や支援が必要な子ども（それぞれの状態において、病弱児・身体虚弱児・医療ケア児と呼ばれる）は、個別の支援や配慮によっては、保育園や小中学校での集団生活が送れる場合も多い。しかし、入園や早期・延長保育の受け入れ、また入院や通院のため長期欠席により、学習の遅れがでるなど、困難に思うことも多いのが現状である。

## 保育園の課題は

**Q** 入園時の課題は何か。

看護師の対応体制がとれておらず、受け入れが困難な状況である。

**Q** 早期・延長保育の加配についてのお考えは。

**A 健康福祉部長** 保育士の確保が難しいため、加配ができていないのが現状である。決してマイノリティだからではなく、全てのお子さんを受け入れる前提の中で、できる範囲で考えていく。



## 小中学校の課題は

**Q** 入学・進学時の課題は何か。

**A 町長** 現在、受け入れができるように、気軽に相談できる体制と環境を整えている。しかし、専門的な医療ケアなどにより、校舎などの大規模改修が必要とされる場合や、改修が難しいと判断される場合については、課題であると考えている。

**Q** 長期入院で、学校に通えない期間の、学習支援についてのお考えは。

**A 教育部長** 長期入院となった場合には、大府特別支援学校から、施設内教育や、派遣による学習を受けることができる。

**Q** 切れ目のない学習の支援のため、タブレットなどICTの活用についてのお考えは。

**A 学校教育課指導主事** これまで、ノートの写し、課題のプリントなどを行っている。タブレットの活用は、撮影方法や研修のノウハウができていない。有効的に活用できるのであれば、保護者や本人、担任の負担が減るものについては積極的に活用する必要があると考える。

**Q** 個別の病気や障がいに対して、勉強会や検討会をどのように行っているか。

**A 学校教育課指導主事** 特別支援学校による巡回指導があり、支援が必要な児童生徒の様子や担任教職員への対応の仕方などを観察し、アドバイスを受けている。

**Q** 保護者も要望すれば、受けることは可能か。

**A 学校教育課指導主事** 保護者から要望があれば、特別支援学校と連携し、検討することは可能である。



森田 義弘 議員

## Q.野菜茶業研究所跡地の取得は A.取得の方向で調整を進める

### 野菜茶業研究所跡地

Q 現状は。

**A 企画部長** 武豊港線の北側約2・7haと南側約0・7haは、町がすでに取得している。また、北側の残地約0・7haは公園の一部として今年度中に町が購入する予定。南側約5・1haは、今年度中に農研機構が売却を予定している。

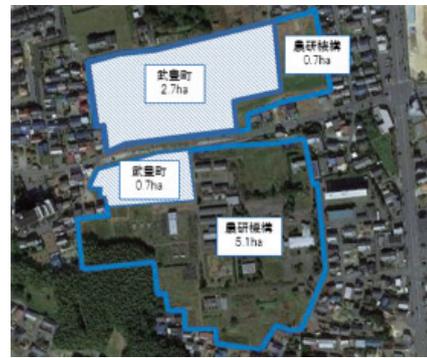
Q 役場や他の公共施設の建替え用地また、多目的な広場として整備の検討は。

**A 町長** 老朽化の進む各施設の集約化も考えられる。また、北・南側の一体的活用により、憩いの広場としても利用できる。様々な可能性を検討したい。

Q 財政状況を考慮した場合、取得できる可能性は。

**A 町長** 武豊町のまちづくりに向けた、20・30年後を見据え、「未来への投資」

として取得の方向で農研機構と調整を進める。



### 町道六貫山線

Q 事業着手までの安全確保は。

**A 土木課長** 通行に支障のある箇所は速やかに修繕などを実施し、安全確保に努める。

Q 部分的に確保できた用地の利活用は。

**A 建設部長** 利活用できる箇所については、仮の歩道を設置するなど活用している。

## Q.墓園改修で樹木葬のエリアを A.新たな供養スタイルについて検討



岩瀬 計介 議員

### 新たな供養スタイルについて検討

Q 樹木葬のエリアを設けて住民要望に応える考えは。

**A 町長** 少子化やライフスタイルの変化に伴い、お墓や供養に対する意識が変わってきている。住民のみならずのニーズに合ったお墓の形態である樹木型などの整備について検討する時期に来ている。他市町の事例を参考にしながら、樹木葬などお墓に限定されない新たな供養スタイルを検討していく。



▲長久手市市塚墓園樹木型合葬式墓所

浅水川、鹿狩川、北川は5年に一度の降雨強度に対応

Q 河川改修計画の現状は。

**A 建設部長** 町の河川は、随時改修をしている。昭和51年9月の豪雨災害を受け、河川改修が進められ、県が管理する3河川は、一部の箇所を除き、5年に一度の降雨強度に対応する改修を終え、町が管理する河川のうち浅水川、鹿狩川、北川は改修を終えている。

**健全な状態で維持管理に努める**

Q 河川に溜まる堆積土や草の影響は。

**A 建設部長** 今後も河川の機能維持について、県とも連携し、健全な状態を保つよう定期的な維持管理に努める。

**概ね改善、および横ばいで推移**

Q 河川の水質汚濁の状況は。

**A 生活経済部長** 年4回の水質検査を実施している。概ね改善、および横ばいで推移している。



石原 壽朗 議員

## Q.企業誘致で雇用創出を A.誘致先が少ないのが課題

企業誘致を促進し、男女問わず若い世代に注目されるまちづくりが必要。

### 労働人口世代が減少

Q 若い世代へのアプローチが課題だが。

A 町長 屋内温水プール建設や世代を超えて憩い集える多目的な総合公園、知多武豊駅東土地区画整理事業など、整備中の事業に人を引き寄せる魅力あるまちづくりを心がける。

Q 富貴地区南部や（仮称）武豊北インターチェンジ周辺、耕作放棄地の集約などで、企業誘致先を整備しては。

### A 副町長

今後の人口減少などを考えたとき、企業誘致は重要な施策であるが、町内に



▲ 第5次武豊町総合計画

誘致候補地が少ないことも課題である。限られた土地のなかに、新たな候補地を探すなど、企業誘致にも取り組んでいく。

Q 雇用創出には官民一体となって、地域ブランドの創出も有効ではないか。

A 生活経済部長 武豊町観光協会が「たけとよめし」を認定して食、味の普及を図っているほか、食品会社とのコラボ商品化の例もある。商工会のほか、まちづくり懇話会や経営者懇話会などと話題提供を通じて、アイデアを考えていきたい。

## Q.水害対策の重点課題は A.事前の備えと迅速な復旧・復興



久野 勇 議員

近年の大雨による被害が各地で発生している中、災害対策について質問した。

Q ため池・河川の改修および維持管理の考え方は。

A 建設部長 町内の2級河川・準用河川はおおむね5年確率で整備済み。ため池は河川能力補完のため、雨水調整用として鹿狩池や六貫山新池を整備、今後は中山新池などの整備を計画している。ため池は計画的に耐震化を進めている。

Q 開発行為による下流への雨水の影響は。

A 建設部長 雨水排水は開発許可制度により一定の水準を確保している。また、下流への影響がないよう既設排水施設の改修や調整池の設置を、事業者と町で協議している。

Q 洪水ハザードマップはあるのか。

A 総務部長 必要と考え、来年度、防災マップ更新にあわせ、水害ハザードマップの作成に取り組みたい。

Q 緊急輸送道路の災害時対応は。

A 総務部長 地域住民などからの情報を把握し、災害対策が円滑に行われるよう、規制などの措置を実施する。

Q 災害廃棄物の取り扱いについての計画は。

A 町長 迅速な対応と処理衛生的な処理・分別、リサイクルの推進などの基本方針に従い、武豊町災害廃棄物計画を策定している。発災時より住民へ防災無線などで周知する。





青木 宏和 議員

## Q. 中電武豊火力発電所の償却資産は A. 25億円を超える見込み

**償却資産の増収を見込む**

**Q** 今後の固定資産税の償却資産の見込み額は。

**A** **総務部長** 平成30年度は、

臨海部企業の固定資産の償却資産が予想以上にあり12億円を超え、平成31年度からは、毎年約5000万円ずつ減少していき、平成34年度は、臨海部企業の償却資産があり約3億円の増収を見込んでいます。

平成35年度は、前年に中部電力武豊火力発電所の建設工事が終わり竣工する予定なので、25億円を超える増収を見込んでいます。

平成36年度以降は、毎年数億円規模で減少していく。

**中長期財政計画を見直す**

**Q** 中長期財政計画の予測より2年早く不交付団体となったが、今後の財政計画への影響は。



▲「中部電力武豊火力発電所 5号機の建設工事現場」

**A** **町長** 大きく2点ある。

1点目は、平成30年度の算定結果により、今年度は普通交付税の交付はなくなり、臨時財政対策債の発行もできなくなる。これまでの財源がなくなるといふ影響はあるが、町税の増収により、カバーできると考えている。

2点目は、不交付団体になることで、一部の事業ではあるが、国からの補助金や交付金の交付率が下がることを確認している。

現在、中長期財政計画の見直しを行っている。

## Q. 里親制度による公園の管理を A. 祠峯公園を楽しむ会などが実施



本村 強 議員

「公共施設の里親制度」をアダプトプログラムといいます。

本来、町の施設である公園や広場などの維持管理は、町が行うものです。しかし、地域の大事な施設でもある公園などを、町民のボランティア活動によって、除草、草刈などを行い、「わが子」のように愛情を持って面倒を見ていく制度です。

**シルバーだけでは大変**

**Q** 町管理の公園や広場の数は。

**A** **建設部長** 現在78カ所である。

**Q** 除草、草刈などはどのようにしているのか。

**A** **建設部長** シルバー人材センターに委託をしている。すべての公園をひとまわりするのに3〜4カ月かかる。

**Q** アダプトプログラムによる管理の現状は。

**A** **建設部長** 5つの公園やちびっこ広場などで、7団体と合意書を取り交わしている。

**Q** 制度の課題は。

**A** **町長** 地域コミュニティの希薄化がいわれる中で制度の周知と地域のみなさんの「自分たちの公園」という意識で自発的に参加できる環境づくりが必要である。

**Q** 「祠峯公園を楽しむ会」の活動をPRして、広く募集してはどうか。

**A** **都市計画課長** 広報などでPRしていく。



▲「祠峯公園を楽しむ会」が管理

## Q.近年の財政状況の特徴は A.経常収支比率が上昇



石川 義治 議員

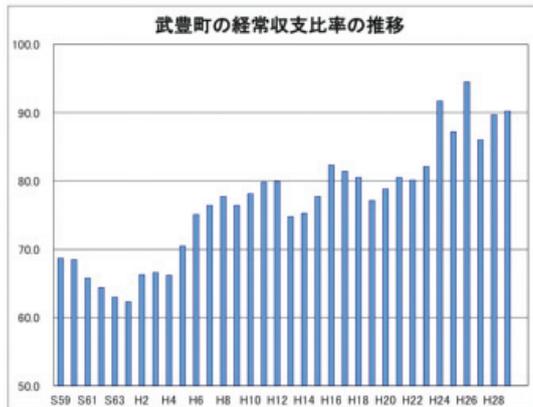
財政状況は、総務省より全国自治体の情報が提供され、経年的な分析や類似団体の比較も容易にできるので、今後の予算編成や財政運営に活かし、住民にもわかりやすく公開していくことが重要である。

**Q** 本年度より、6年ぶりに不交付団体になったことに対する見解は。

**A** **総務部長** 算定結果は、本町の実態と全てにおいて適合するものではなく、昨年と比べ格段の変化ではない。

**Q** 近年の財政状況の特徴は。

**A** **総務部長** 財政の硬直化を計る指標といわれる「経常収支比率」が上昇している。また、将来的にまちの財政を圧迫する可能性の度合いを示した「将来負担比率」は、一時的に大きく上昇している。



**Q** 中期的財政の見通しは。

**A** **町長** 平成30・31年度は増収、32・33年度は減収、35年度には大きく伸びる。

**Q** 財政状況を、住民にわかりやすく説明していくことに対する見解は。

**A** **総務部長** 財政資料は、一般的になじみのない表現や用語も多い。ここ数年で記事を一新し、わかりやすい工夫をしている。今後わかりやすく伝えていきたい。

## Q.0歳児入所要件の社会保険加入は A.今年度10月申込みから撤廃する



櫻井 雅美 議員

武豊町では0、1、2歳児の保育が始まった頃から、社会保険に加入していることが入所条件となつていました。フリーランスの方は入所できず、仕事ができなければ無収入となり、場合によってはその後の収入にも大きく影響してしまいます。

**Q** 社会保険非加入者で保育園に入所できず困っている方に、どのような対応がされてきましたか。

**A** **町長** 本町の0歳児の入所条件は「保護者のいずれもが社会保険に加入し、常勤で勤めていること」としています。入所条件を満たさない方々には、ファミリー・サポート・センターや一時的保育、民間の企業主導型保育所の利用をご案内しています。平成31年度からは人的な整備が図れることと、近年のニーズなどを勘案し、今年10月の入園申込みより、社会保険要件の撤廃をいたします。

不登校児への対応と予防にスクールソーシャルワーカー配置や、小学校への適応指導教室設置が必要です。

**Q** 不登校児の傾向は。

**A** **教育部長** 小学校では、全国が213人に1人、武豊町は105人に1人。中学校では、全国が33人に1人、武豊町は23人に1人の割合で、若干高い発生率となる。

**Q** スクールソーシャルワーカー配置の検討は。

**A** **教育部長** スーパーバイザーも含め、前向きに検討している。

**Q** 小学校への適応指導教室の設置は可能ですか。

**A** **教育部長** 可能である。





梶田 進 議員

## Q. 臨時・非常勤職員の待遇改善は A. 契約更新、手当の支給が可能に

地方公務員法などが改正され、2020年4月1日より施行されます。現在の臨時・非常勤職員の働き方が変わります。臨時・非常勤職員の現状と改正後について問います。

### 臨時・非常勤職員の現状は

**Q** 臨時・非常勤職員の職種と勤務条件はどのようになっていますか。

**A** 町長 現在、臨時・非常勤職員の職種は約20種類あります。任用期間は、臨時職員は6カ月、非常勤職員は1年となっています。勤務時間は、2時間から7時間30分の間で勤務している状況であります。

**Q** 職種ごとに占める臨時・非常勤職員は何人で、何パーセントとなっていますか。

**A** 企画部長 臨時・非常勤職員は383人で113.6%です。

職種別では、本庁内40人で21.1%、保育園・児童館・児童クラブ・子育て支援センター・あおぞら

園など合わせて268人で216.1%、その他の施設では34人で178.9%です。

### 法改正前と後の変化は

**Q** 地方公務員法、自治法改正前と、改正後では具体的にどのような変わりますか。

**A** 企画部長 主な改正内容は、臨時・非常勤職員の任用根拠の明確化・適性化と「会計年度任用職員」の報酬・給料、手当などの規定などが創設されたことです。改正前と後での具体的な変化については、公務員の守秘義務が課せられる点、期末手当の支給が可能となる点などが挙げられます。

**Q** これまでの臨時・非常勤職員が「会計年度任用職員」となった場合、待遇に差が出ますか。

**A** 副町長 一般職の常勤職員の任用はフルタイム・パートタイムどちらでもよいこととなります。条件としては、これから、健康保険、期末手当、フルタイムの場合は扶養手当の支給ができ、正規職員により近い形となります。

# Q&A その後どうなった?

そういえばあの答弁どうなったのかな

## 入学前に就学 援助金の支給を

就学援助の入学準備金の支給を実際に必要となる入学前に支給できるよう文科省の支給要綱が改定された。

**Q** 就学援助の要保護児童・生徒の入学準備金が、実際に必要となる入学前に武豊町も支給できるようにされたい。

**A** 就学援助費の新入学児童・生徒の入学前支給については、判定の基礎となる所得の把握など事務処理上の時間的制約、二重支給などの課題がある。これまで学期ごとにまとめて支給してきたが、必要な時に支給できるよう準備を進める。  
(平成29年6月議会質問)

### その後

平成30年度から、新入学児童・生徒から入学に間に

合同よう入学準備金が支給されるようになりました。支給該当者

次のいずれかに該当するか教育委員会が認めたら人。

・生活保護が停止又は廃止された人

・町民税非課税又は減免された人

・個人事業税又は固定資産税(住宅新築の場合は除く)が減免された人

・国民年金保険料免除、国民健康保険税が減免、徴収猶予のどちらかに該当する人

・児童扶養手当が支給された人

問合わせ 役場学校教育課、各小中学校



# 武豊町議会 中部電力(株)武豊火力発電所5号機建設現場

武豊町発展のために貢献している町内企業の事業内容を、町議会として知っておく必要があると考え、町内企業の視察を行っています。

9月11日に、現在建設中の、中部電力(株)武豊火力発電所5号機および衣浦1号地最終処分場の工事現場を視察しました。

最初に、会議室にて、パワーポイントで建設工事の行程や工事状況・工事工法・工事に伴う環境対策について説明を受けました。

視察では、あいにくの雨のため、バスからの視察となりましたが、騒音・振動対策の巨大な防音壁、低騒音・低振動杭打機や独自に防音シートを巻いた



▲ 中部電力(株)武豊火力発電所視察風景

杭打機。粉じん対策では、防塵シート設置や構内道路の常時散水・運搬車両のタイヤ洗浄プール・泥落とし装置など、地域住民への気遣いが伝わってきました。

現在、本工事着工より約半年、工事進捗率は約3%程度ですが、2022年の供用開始に向け順調に進んでいました。

# 武豊町議会 知多太陽光発電所・知多エッグGPセンター

去る7月4日町内にある知多太陽光発電所・(株)キナンと(有)知多エッグGPセンターの2社を視察しました。詳細については以下の通りです。

## 知多太陽光発電所(株)キナン

武豊町北部の高台に広がる土地20万㎡に太陽光パネルが設置されていました。

一般家庭で約4000世帯分、パネル数約5・6万枚の見渡す限りのパネルは見事な風景でした。

山を削ったパネル設置であるので、雨水対策用の遊水池を設けたり、野鳥による被害の対策に配慮しています。

## 知多エッグGPセンター

武豊町北部の常滑市に近い所に、(有)知多エッグがあり、この一角に畜産クラスター計画により建設されました。

知多エッグでは現在35万羽を養鶏し43万羽まで増や

す予定です。

GPセンターでは自社鶏卵以外に、知多半島にある採卵業者も希望により受入れ、輸送コスト削減を図る事ができます。

鶏の飼育から採卵、パック詰め、出荷まで一貫体制を整え、農林水産省の推奨する、農場HACCPの認証を取得し、生産性向上、適切な飼養衛生管理を実行しています。

29万個の卵を毎日出荷し、安心・安全で、おいしい卵をできる限り早く食べていただけるよう努めています。



▲ 知多エッグGPセンター視察風景

# 建設経済委員会 防災公園の整備手法・合葬墓(樹木葬)の運営

7月18日 神奈川県厚木市「ぼうさいの丘公園」  
7月19日 静岡県吉田町「防災公園・北オアシスパーク」

野菜茶業研究所跡地に防災機能を備えた総合公園を整備することから、先進機能を備えた防災公園を視察しました。

両施設とも管理棟のほか、マンホールトイレや備蓄倉庫、耐震性貯水槽を備えており、施設管理は外部へ委託しています。

年間の維持管理費や来場者の推移、想定避難者数に対するトイレや備蓄品の数量設定の考え方などを学び、町が進める公園整備構想にも大変役立つものとなりました。

7月19日 愛知県長久手市「卯塚墓園」

少子化、核家族化などで近年話題となっている合葬墓(樹木葬)について、県内で唯一の公共墓園樹木葬

を視察しました。

市外からの申し込みを可能にしたことから、申し込みが急増しており、新たな整備計画もされています。

使用料設定の根拠や市民の反響、事前に利用者に説明する使用ルールやメリット・デメリットなどを管理者からヒアリングし、武豊町やすらぎの森墓園の今後のあり方に、大変参考となる視察となりました。



▲ 愛知県長久手市「卯塚墓園」

## 議会だより特別委員会 兵庫県播磨町議会が視察のため来庁

7月11日に兵庫県播磨町議会より議会広報公聴常任委員会のみなさんが来庁されました。

事前にはいただいていた質問をもとに、本町の特徴である「翌月15日発行(12月議会を除く)」までのスケジュールを中心に、紙面割りや担当割り、校正回数、フルカラー印刷での予算などについて説明しました。

続いて、より多くの方に読んでいただく工夫として、表紙の写真には内容に関連するものを選定していることやトピックス、住民の声、Q&Aなどについて。読みやすさについては、字の大きさやフォント、色などができる限りユニバーサルデザインを取り入れている

ことなどを、お話をさせていただきました。

播磨町の皆さまは前日に東京都で開催された「町村議会クリニック」の研修に参加されていたので、内容について情報をいただき、よい情報交換を行うことができました。



▲ 兵庫県播磨町議会視察風景



# 大足子育て支援の会「Little foot」代表にインタビュー 地域の子どもを一緒に育てていきたい!



ほそかわ あつこ  
細川 敦子さん

平成28年度協働のまちづくり連続講座「おもいローカル。飛び出せ!地域編」が大足地区で開催され、参加したことがきっかけ。

**Q** どのような活動をしていますか。

**A** メンバーは講座の参加者3名、誘った仲間が5名です。年に4、5回、地域交流センターで開催される「味の蔵」のイベントで、乳幼児を連れただご家族に居場所を提供しています。

**Q** 活動の中で協働は進んでいますか。

**A** 29年度は仲間を集めて



▲ 大足子育て支援の会活動風景

**A** 本当はもっと子どもが楽しめることをしたいのですが、気負わず続けていくため、まずは居心地よくホッとでき、気軽に話ができる場作りをしています。

**Q** 今後はどのような活動を目指していますか。

持ち出しで活動をしていましたが、産業課の協力と活動の様子を見にきてくれていた大足区長から申し出をいただき、活動に対する補助金をいただけるようになりました。

## ● 町民の議会に関するご意見

皆さまからの議会に関するさまざまなお意見を募集しています。

応募は、手紙・電話・メールで。

〒470-2392 武豊町字長尾山2番地  
TEL:(0569)72-1111 (内線207)  
E-mail:gikai@town.taketoyo.lg.jp

※応募に当たっては、必ず、住所、氏名、連絡先(電話・メールアドレス)を記入してください。

掲載時は、ご希望によりイニシャル表示とします。また、写真・ご意見とも掲載時に編集することがあります。

## 編集後記

猛暑に度重なる台風、それに追い打ちをかけるような北海道における震度7の地震。多くの犠牲者と被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

去る8月8日、議会だより特別委員会は、広報研修会に参加し、「議会だより たけとよ」のクリニックを受けました。「読者が知りたいことをどう表現し、伝えるか」ということが、議会だよりの使命であること指導をいただきました。

9月議会では、猛暑の学校環境の悪化を受けて、全議員で要望書を提出、小中学校にエアコンを設置するための設計委託料が可決されました。平成31年度中に設置予定です。(本村 強)

## お知らせコーナー

### 次回定例会日程(予定)

### 議会を傍聴しましょう!

本会議場で行われる議会は、どなたでも傍聴することができます。また、各委員会は、委員長の許可があれば傍聴できます。

11月26日(月)	14時	請願・陳情提出期限
12月4日(火)	9時	開会
5日(水)	9時	一般質問
6日(木)	9時	一般質問
11日(火)	9時	議案質疑
12日(水)	9時	総務企画委員会
	14時	文教厚生委員会
13日(木)	9時	建設経済委員会
18日(火)	14時	採決

### 一般質問の放送予定

ケーブルテレビ(CCNC)  
12月15日(土)・22日(土)  
午前9時から

地方自治体広報誌アプリ



【マチイロ】

「議会だより たけとよ」が掲載されています。